

近畿ろうきん 社会貢献預金（笑顔プラス） 寄付金を活用した活動報告

社会貢献預金（笑顔プラス）は、預金者の寄付負担（金利引下げ分の利息相当額）と近畿ろうきんからの拠出金の合計額を毎年度、NPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

2025年6月の寄付金は総額11,533,986円となり、当金庫から各団体に寄付を行いました。また、2018年度からの累計の寄付総額は2,837万円となりました。

残高：131億96百万円
（2025年3月31日現在）

預金者からの寄付負担：9,033,986円
当金庫からの拠出金：2,500,000円

寄付金額：地区別団体 877,549円（1団体あたりの寄付金）
近畿共通団体 1,379,248円（1団体あたりの寄付金）

滋賀地区

〈国際協力・環境保全〉

公益財団法人 国際湖沼環境委員会

「SLM Week」開催費用の一部として活用させていただきました。参加した6か国の研究者・学生等は、琵琶湖・淀川流域でエコツーリズムや市民活動を体験して、持続可能な湖沼管理（SLM）の推進に向けアクションプランを策定し、世界に発信しました。



理事長 竹本 和彦



奈良地区

〈環境保全・地域づくり〉

NPO法人 奈良ストップ温暖化の会

持続可能で脱炭素の社会構築のための一助となるよう「匠の環」交流会を開催しました。NPOなどの団体、行政、企業等がそれぞれの活動を報告し、学び合い、連携の環を拡げ、さらなる実践につなげるきっかけとしていただきました。



理事長 北浦 由香



京都地区

〈地域づくり・防災〉

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

2024年度は日本人の主食であるお米の値段の高騰や生鮮野菜の高騰と昨年度よりさらに厳しい状況となるなか、地元スーパーやきょうとフードセンターとも連携し、ひとり親家庭や外国ルーツの家庭などに対して食料や生活物資の支援を行い、課題解決に繋がりました。



理事長 牧 紀男



京都地区

〈子ども支援・貧困対策〉

NPO法人 山科醍醐こどものひろば

京都市山科区と伏見区醍醐地域に住む家庭的困難を抱える子どもたちに、食事・学習・余暇支援・食材配布を実施。不登校、虐待、経済的貧困などの課題を抱える子どもたちのために、年齢の近い学生ボランティアが信頼関係をつくり、安心・安全でホッとできる居場所をつくりました。



理事長 品田 真孝



和歌山地区

〈地域づくり・防災〉

認定NPO法人 わかやまNPOセンター

地震が多い日本では、列車乗車中に大規模災害に遭う可能性もありますが、自宅や職場と異なり訓練する機会がありません。今回はJR西日本さんの協力を得て、列車乗車中に被災した場合の避難行動を、座学と実践（列車からの飛び降り降車）を通じて学ぶことができました。



理事長 志場 久起



大阪地区

〈子ども支援・不登校対策〉

NPO法人 ここ

家庭環境を理由にフリースクールに通ったり、行事に参加できない家庭への金銭的な補助として活用させていただきました。2024年度は補助を受けた生徒たちが志望した専門学校・高校へ進学を果たすことができました。ありがとうございました。



理事長 三科 元明



大阪地区

〈女性・マイノリティ支援〉

認定NPO法人 いくの学園

サバイバー（被害当事者）支援拠点の運営維持：シェルターへ緊急避難された人のための給食費と交通費（ボランティアやスタッフの同行支援費含む）などに活用しました。生活を立て直すために様々な機関（病院、法律事務所、不動産屋、役所、DVセンター等々）に同行しました。



理事長 雪田 樹理



大阪地区

〈障がい者生活支援〉

NPO法人 日常生活支援ネットワーク

2011年より関西の障がい当事者と支援団体が、全国の被災障がい者救援活動と結びつき、一堂に会する交流祭を「童夢KANSAIフェスティバル」として、長居公園で行いました。顔が見える関係作りと地域での障がい者の活動を知ってもらうために寄付金を活用しました。



理事長 柿久保 浩次



兵庫地区

〈災害・病気等の遺児支援〉

一般財団法人 あしなが育英会

2025年1月には阪神淡路大震災から30年の節目を迎え、震災を機に神戸レインボーハウスから始まった心のケア活動をこれからも継続・発展させていくことを再認識しました。寄付金はグリーフサポートプログラム開催費等に大切につかわせていただきました。



会長 玉井 義臣



兵庫地区

〈国際協力・被災地支援〉

NPO法人 CODE海外災害援助市民センター

2022年2月に発生したウクライナ戦争による避難民やアフガニスタン難民（神戸市内在住53名）を支援する「MOTTAINAI野菜便」の活動や避難民の子どもへの子守ボランティアに参加するCODE未来基金の学生たちの活動等に活用させていただきました。



代表理事 室崎 益輝



京都地区

〈地域づくり・防災〉

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

2024年度は日本人の主食であるお米の値段の高騰や生鮮野菜の高騰と昨年度よりさらに厳しい状況となるなか、地元スーパーやきょうとフードセンターとも連携し、ひとり親家庭や外国ルーツの家庭などに対して食料や生活物資の支援を行い、課題解決に繋がりました。



理事長 牧 紀男



京都地区

〈子ども支援・貧困対策〉

NPO法人 山科醍醐こどものひろば

京都市山科区と伏見区醍醐地域に住む家庭的困難を抱える子どもたちに、食事・学習・余暇支援・食材配布を実施。不登校、虐待、経済的貧困などの課題を抱える子どもたちのために、年齢の近い学生ボランティアが信頼関係をつくり、安心・安全でホッとできる居場所をつくりました。



理事長 品田 真孝



和歌山地区

〈地域づくり・防災〉

認定NPO法人 わかやまNPOセンター

地震が多い日本では、列車乗車中に大規模災害に遭う可能性もありますが、自宅や職場と異なり訓練する機会がありません。今回はJR西日本さんの協力を得て、列車乗車中に被災した場合の避難行動を、座学と実践（列車からの飛び降り降車）を通じて学ぶことができました。



理事長 志場 久起



近畿共通

〈災害支援・防災〉

認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク

阪神・淡路大震災の教訓を伝える目的で、「子どもと防災」「障がい者と防災」などをテーマに計5回のシンポジウムを西宮で開催しました。また、災害支援活動としては、能登半島地震の被災地である七尾市中島町で、関西学院大学などと連携し交流活動を実施しました。



理事長 渥美 公秀



近畿共通

〈国際協力〉

NPO法人 関西NGO協議会

ユース向けイベント「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2024」を12月に開催しました。NGOなど11団体と5校の高校が出展し、112名が参加。環境や人権などの社会課題、国際協力のキャリアについて学び、地球規模の課題解決に向けたアクションを考える貴重な機会となりました。



代表理事 三輪 敦子

